

2013 いなげの浜OWSスクール 運営報告書

NPO法人京葉インターナショナルスポーツ倶楽部

担当 杉本

概要①

- ・ 名 称 いなげの浜オープンウォータースイムスクール
- ・ 主 催 NPO法人京葉インターナショナルスポーツ倶楽部
- ・ 開催場所 稲毛海浜公園・いなげの浜

- ・ 開催日時

| 日 程 | 時 間 | 定 員 |
|----------|-------------|-----|
| 7月27日(土) | 14:00-16:00 | 30名 |
| 8月03日(土) | 13:00-15:00 | 30名 |
| 8月10日(土) | 14:00-16:00 | 50名 |
| 8月17日(土) | 13:00-15:00 | 30名 |
| 8月24日(土) | 14:00-16:00 | 30名 |
| 8月31日(土) | 13:00-15:00 | 50名 |

- ・ 参加条件 100m以上泳げる高校生以上

概要②

- ・参加費 2,000円(インターネット事前申込みの場合、別途手数料あり)
ただし事前申込みで一度に複数の予約をした場合、次の料金設定となる

| | 参加費 | 手数料込 | 割引 | 割引後 | 1回あたり |
|----|---------|---------|------|---------|--------|
| 1回 | ¥2,000 | ¥2,250 | - | - | ¥2,250 |
| 2回 | ¥4,000 | ¥4,250 | - | - | ¥2,125 |
| 3回 | ¥6,000 | ¥6,300 | 2.5% | ¥6,150 | ¥1,950 |
| 4回 | ¥8,000 | ¥8,400 | 5% | ¥7,980 | ¥1,900 |
| 5回 | ¥10,000 | ¥10,500 | 7.5% | ¥9,720 | ¥1,850 |
| 6回 | ¥12,000 | ¥12,600 | 10% | ¥11,340 | ¥1,800 |

※1 当日参加は2,500円となる

※2 手数料は5000円未満が250円、5000円以上は参加費の5%となる

- ・趣 旨 いなげの浜において水泳教室を行うことで、海で泳ぐ技術や知識を身につけ、さらにスポーツ活動を通じて市民の心身の健全な育成を図る。また、参加者全員でビーチの清掃活動を行い、社会貢献活動の啓蒙を行う。

後援・協賛・協力

- ・ 後 援 千葉市
公益財団法人千葉市スポーツ振興財団
- ・ 協 賛 江崎グリコ株式会社
有限会社スタイルバイク
- ・ 協 力 千葉県トライアスロン連合
千葉市トライアスロン協会
スポーツクラブNAS株式会社
Team AOYAMA



講師・スタッフ

- ・ 講師

杉本 宏樹(稲毛インターナショナルトライアスロンクラブ)

吉越 慎吾(スポーツクラブNAS)

平野 司(スポーツクラブNAS)

太田 麻衣子(チームアオヤマ)

- ・ スタッフ

加藤 友里恵(稲毛インター)

伊藤 喜志子(稲毛インター)

知花 果林(稲毛インター)

河野 力(稲毛インター)

佐藤 陽介(スポーツクラブNAS)

スケジュール

| | | | |
|------------------------------|----------------|------------------------------|----------------------|
| 12:10 (13:10) | 集合 | 13:30-13:40 (14:30-14:40) | W-up |
| | スタッフミーティング | 13:40-14:00 (14:40-15:00) | OWStレーニング |
| 12:30 (13:30) | 受付開始 | 14:00-14:10 (15:00-15:10) | 休憩 |
| | セッティング | 14:15-14:30 (15:15-15:30) | OWStレーニング |
| 13:00 (14:00) | スクール開始 | 14:35-14:50 (15:35-15:50) | 15分間泳 |
| | 説明 | 14:50-14:55 (15:50-15:55) | C-down |
| 13:05-13:20 (14:05-14:20) | ストレッチ・体操 | 15:00 (16:00) | スクール終了 |
| 13:20-13:30 (14:20-14:30) | いなげの浜クリーンアップ活動 | | オフティング スタッフミーティング |
| | | 15:20 (16:20) | |
| | | 15:30 (16:30) | 解散 |

内容

- ①アップ
- ②立ち泳ぎや仰向け(つかまる場所のない時のレスト方法として)
- ③ロングを泳ぐために楽なクロールのフォーム作り
(ドリルなど必要に応じて行う)
- ④方向確認のテクニック(ヘッドアップ)
- ⑤方向確認を交えたトレーニング
- ⑥集団スタートをしながらのスイム(レースシュミレーション)
- ⑦連続時間泳(5～20分)

総評

- いなげの浜で開催される夏のイベントとして定着してきた。
- SNSや雑誌媒体を使った告知や、Webエントリーを採用した結果、昨年以上の参加者を集客することができた。
- 他団体から講師を招き、一開催につき2～3名の講師で対応できたため、参加者が多い場合でも質の高いプログラムを提供することができた。
- スクール実施時間を潮目に合わせて変更することで、干潮のため泳ぐことができないという事態を防ぎ、参加者の満足度を高めることに繋がった。
- いなげの浜の監視スタッフと連携を図るとともに、スクールスタッフも十分に確保できたため、本スクールは事故なく無事に終了した。

運営面の課題

- 受付場所が目立たず、参加者から質問を受けることが多かった
→ 受付場所にはのぼりや看板など、目立つものを配置する
- 参加者が受付時間に間に合わなかった場合の連絡系統が確立されていなかった
→ 参加者には緊急連絡先としてスクール責任者の連絡先を参加案内メール配信時に伝える
- 荒天や波浪、青潮で開催できなくなった際の対応策についての検討が不十分だった
→ 砂浜で学べるようなカリキュラムの作成を進める
- プール開園中のため駐車場が混雑するので、他の手段での来場を勧めるべきだった
→ 申込み要項、案内メールなどに駐車場が混雑する旨を記載する

今後に向けて

- ・申込み用紙に「参加費支払後のキャンセルや荒天・波浪・青潮などにより中止となった場合、参加費の返金はない」という旨を必ず記載する
- ・台風などの自然災害やスクール中の事故など、常識的に安全を優先すべき事態が起きた場合は、理事長と担当者が話し合い、実施・中断・中止の判断を下す
- ・安全体制をより強固なものにするために、スクールスタッフへレスキューチューブなどの機材の使い方を学ぶ事前講習を実施する
- ・遊泳禁止の際のスクール実施については管理者であるみどりの協会へ報告する
- ・スクールを午前と午後の2部制にすることも検討する
- ・開催期間を延長(5月及び6月頃から実施)することも視野に入れ、関係各所へ相談し、実際に可能かどうかを確認する

スクール風景

